

日本国憲法	2年 後期	講義2単位	担当教員名	井 坂 亨	
	卒必 幼必 保必				
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 国民生活と日本国憲法との関係について理解する。 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や国政に生きる憲法の存在意義を理解し、大学生としての社会的資質を高める。 国家の概念、領土、国権及び主権、国家の形体など憲法に関わる用語を理解する。 憲法という概念の発生過程と近代憲法の原則、日本国憲法制定までの歴史と基本理念を理解する。 日本国憲法と国民生活との関係、憲法解釈上の諸課題を理解する。 					
授業の概要 授業全般を通し、日常生活で、ともすれば疎遠になりがちな憲法について、身のまわりの事例をとりあげながら、憲法が日々の生活に深く関わっていることを再認識させ、憲法についての関心や態度を深めていきたい。憲法の基本的な用語と概念を理解させるとともに、日本国憲法の三大原則や三権分立等について、新聞等の記事や条文に照らし合わせながら理解させる。変化する世界の状況を踏まえながら、様々な憲法解釈にふれ、日本国憲法の今後についての論議に関心を深める。					
授業計画					
コマ(回)	項 目	内 容			
1	憲法を学ぶ目的・用語解説	・国家、領土、国民、主権、国家形体（専主制・民主制・共和制等）			
2	憲法の生い立ち	・ジョン・ロックの「市民政府論」 ・憲法の概念（実質的憲法・立憲的憲法）			
3	近代憲法の原則 大日本帝国憲法	・国民の政治参加 ・権力の分立 ・基本権の保障 ・大日本帝国憲法（制定の特異性、民主制と君主制の二元制）			
4	日本国憲法の成立と考え方	・日本国憲法制定の経過 ・押しつけ憲法論			
5		・日本国憲法の基本原理 ・最高法規			
6	日本国憲法の概観	・前文と基本理念 平和主義 国民主権 基本的人権の尊重			
7		・政治の仕組み1（国民主権 国民の政治参加 選挙権）			
8		・象徴天皇制 ・地方自治			
9		・平和国家（平和原理主義）・基本的人権（自由権 平等権 生存権等）			
10		・政治の仕組み2（立法・司法・行政の構成と機能 三権分立）			
11		・立法権（国会の地位と性格 衆議院解散権）			
12		・行政権（内閣 議院内閣制 内閣不信任）			
13		・司法権（裁判所 違憲審査制 三審制 裁判員制度）			
14		・憲法改正の手続き			
15		憲法と国民の生活	・憲法の今後 ・護憲改憲の論議 ・講義の総括		
定期試験		15コマ終了後に実施する。			
テキスト		日本国憲法（小学館）			
参考図書		日本国憲法を口語訳してみたら 塚田 薫 長峯 信彦（幻冬舎）			
教員の 評価方法		授業態度（20%）、レポート・提出物状況（20%）、定期試験（60%）の総合で評価			
準備学習等 履修上の留意点	予習課題の提示 憲法関連新聞記事の収集				